

燐たり
四中
学校だより

勝手合う



どこに向かって
努力していきますか？

夏休みが終わり、新たなスタートをみて『よし元気張ろう!』と生活を送っている人も多いと思ひます。

学校でも、テストに向けて夏休みの

スタディルームの開放が始まりました。そこで、みなさんにお願ひしたいのが、『はっきりとした目標を立てよ』ということをしてほしいのです。とある実業家が『ほとんどの人が、目標もないのに毎日、どちらの方向に向かっていいのかわからずに、努力をしている。これは無駄です。これだと、方向を決めてその方向に向かって取り組むことが大事なんです』と言っていた。確かにそうだと思ひます。四中生もその状態におちいでいる人がいるのではないか? 生徒のみなさんを見てみると、自学帳(燐たりシート)や授業中の勉強をよく元気張っているけど、その元気張りの割には報われていない人が多いような気がするのです。今、期末に向けて元気張りいる人、目標を立てていますか? 立っていても漠然と『勉強を元気張る』だけになってしまふ人か? そんな人は、具体的に『1日5個単語を覚えて忘れまい』とか、『毎日、ひとつ数学の文章題をとけるようにする』というような結果があがる目標を立てみませんか? そうすると、毎日、目標を達成してきたのかどうか確認することができますし、達成感を得ることもできます! それが次の努力の原動力にもなるのです。そして、さらに目標がはっきりすると、それを達成するために、計画を立てる必要性が出てきます。』



『計画のない目標は、ただの願い事でしかない』と言われるように、計画がないと力がついてきません。この計画を立てる力は、大人になってから、とても大切な能力になります。計画が立てられない人は、何の仕事をするにしても、なかなかうまくいきません。今、『勉強』というみんなにとっての仕事を通じて、計画立て、実行する力をつけていくことが大事です。(もちろん勉強の中身もですが...) そして、これは、計画通りうまくいくかどうかが大事なのであります。うまくいかない時は、計画をそこで修正していくければいいのです。もしも、その『修正する力』が大人になって必要になります。誰もが、うまくかないことを、何度も何度も経験して成長しているのです。先生たちもそうです。大人にあっても、ずっとその通り返します。たかが『目標を立て実行する』ということだけの中にも、なんとなく努力して取り組む人と、具体的な目標を持ち、計画をたててうまくいかない所を修正しながら取り組む人では、その過程で身につけた経験値に大きな差があります。その後の人生と成長に大きくかかわってきます。まずはちょとしたことだけでも意識して取り組んでみませんか? まずは期末テストに向けて元気張ってみよう! ご家庭でも、テスト前に『勉強せんね!』だけでなく『今日覚えたことをみて』といった声かけをこの機会にいただけたらうれしいです。ちなみにテストは16日(火)~18日(木)です。

よろしくお願ひいたします!

返信ありがとうございました!!

MIGAKIAU 6/27 直ぐになかなか拝読できず保管しており時間合間みながら拝読いたしました。私も過保護な親なのだと痛感しました。雨の日には学校まで送迎し、部活、習い事に行きたくないと伝えてくればなだめ、励まし休ませる、自分の準備はおろか家の当番事もしっかりやれてないことは日常多々。なかなか生活力が身についてないんですね。甘やかしてることはわかりつつ、手を離す毎回減が難しいです。今回の詩は雨ニモアテズ、母親の最高の知恵はグサリときました。こどもたちにもいつも拝讀していますが、再度読み聞かせしたいと思いました。

忙しい中に目を通したりたまがどうぞります。私も過保護に育てられ、自分の娘たちに対して甘やかしたな...と思って、自分の失敗から経験したことなどを書いてます。おそらく多くのご家庭が同じような悩みをもつかるかと思つて紹介しています。各家庭での困りごとを教えていただけたら幸いです! 何でも自由にどうぞ! → QRコード

